

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に及び、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	7		児童が来所後におこなう消毒、手洗い、検温等の流れを児童に分かりやすい言葉で伝えていきます。また、衣服をかけるハンガーには名前を付ける等、児童に分かりやすく構造化された環境となるよう努めております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日、掃除・消毒・換気をおこない、常時空気清浄機を使用しております。また、活動ごとにスペースを分け、三密にならないように配慮し、心地よい環境の演出に努めております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		療育、機能訓練、余暇時間とスペースを分離しておりますが、必要に応じて使用できる環境を整えております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		毎日の引き継ぎやリフレクション会議等で話し合い、業務改善に努めております。話し合いの場では、広く意見を出し合える雰囲気づくりに努めております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者様へのアンケート評価を実施いたしました。保護者様の評価やご意見・ご意向等を踏まえ業務改善に努めてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎日の引き継ぎやリフレクション会議等で話し合い、業務改善に努めております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。			事業所内研修や研修動画の視聴を実施し、研修の機会を確保しております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		公式Webサイトにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		法人で作成した標準化されたアセスメントツールを適切に使用しております。保護者様と十分な時間をかけてニーズや課題の聞き取りをおこない、計画の作成に努めております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		児童に関わる全職員が共通理解と認識の下、児童の支援にあたる事ができるよう、個別支援計画の作成時には個別支援会議を開催し、児童の最善の利益を考慮できるよう検討しております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		全職員が支援計画を把握し、統一した支援をおこなっております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		計画作成時には法人で作成した標準化されたアセスメントツールを適切に使用しております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		放課後等デイサービスガイドラインに沿って適切な項目を選択し、支援計画を作成しております。また、関係機関と連携を図り、今後の課題に沿った計画も作成しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		療育をおこなっていく中で出てきた課題やアイデアを職員間で共有しあい、活動プログラムに取り入れ、立案しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		集団・個別での機能訓練などプログラムが固定化しないよう取り組んでおります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		児童の特性や状況に合わせて個別療育や集団での機能訓練等と組み合わせる計画を作成しており、支援をおこなっております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日の引き継ぎの中で前日の振り返りをおこない、支援内容や役割等について確認しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		勤務時間の関係で、支援終了後に全職員で打ち合わせをおこなうことは難しいですが、その日に共有すべき内容は打ち合わせをおこない、情報共有に努めております。また、翌日には必ず引き継ぎをおこなっております。	今後も振り返りや情報共有を確実におこない、伝達漏れが生じないよう体制の強化に努めてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々療育内容は記録として残しており、職員間で見直すことで検証・改善に努めております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		半年以内にモニタリングを実施しており、状況や課題を踏まえ計画の見直しの時期を判断しております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7		放課後等デイサービスガイドラインに基づき、本人支援・家族支援・移行支援・地域支援/地域連携の視点を踏まえ、「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援をおこなっております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	7		学習開始前にスケジュールの確認をおこない、課題の進行順番を自分で決定するよう取り組んでおります。療育、余暇時間のどちらでも自己選択をおこなうことができるよう児童と向き合い、支援の工夫をおこなっております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		主に児童の状況に精通した児童発達支援管理責任者と機能訓練分野で精通している専門職員（作業療法士）とで参画しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		主に相談支援専門員との連携を図り、関係機関と連携をおこなうように努めております。	今後も幅広い関係機関と連携を図り、より良い支援をおこなってまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		保護者様から学校行事や時間の変更を教えてください、学校とも連携を図り、下校時刻の確認や連絡調整をおこなっております。必要時には相談支援員と連携して担当者会議を開催し、共通理解を図っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		相談支援専門員を通じ、担当者会議等開催により情報共有や相互理解に努めております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		相談支援専門員を通して、担当者会議等の開催により情報共有や相互理解に努めております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	担当者会議に参加し、児童の併用事業所や相談支援専門員から助言をいただいております。今後も連携をおこない、より良い支援の提供に努めてまいります。	今後も連携に努め、より良い支援の提供に尽力してまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		交流ができるよう検討しておりますが、現時点では交流をおこなうことができませんでした。	感染症等の状況や保護者様の意向も踏まえ、交流の機会の企画を検討してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		現時点では参加機会はありませんでした。	今後は日程調整をおこない、研修や会議等へ参加できるよう努めてまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と話し合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時や連絡帳の記入に際して、その日の活動の様子を細かくお伝えし、共通理解を図っております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族が参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	保護者様の子育て等の悩みには職員間で話し合い、適切な助言に努め、ご家庭でも取り組むことができるよう家族支援を通して分かりやすくお伝えしております。	今後も保護者様のお悩みやご相談に寄り添い、連携を図りながらより良い家族支援に努めてまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時やモニタリング時に詳しく説明しております。変更があった場合は、その都度文書をお渡しし、説明をおこなっております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		児童発達支援管理責任者および専門職が、モニタリング時に放課後等デイサービスガイドラインに基づき保護者様と話し合い、保護者様の意向や児童の特性を踏まえて個別支援計画の内容を丁寧に説明し、同意を得ております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		児童発達支援管理責任者、専門職が個別支援計画書を作成した段階で、保護者様に支援計画内容を丁寧に説明させていただき、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		保護者様の子育て等の悩みには職員間で話し合い、適切な助言に努め、ご家庭でも取り組むことができるよう家族支援を通して分かりやすくお伝えしております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		現時点では開催はできておりませんが、事業所として交流や活動の機会を提供できるよう検討しております。	保護者様同士の交流や活動の場を企画し、実施に向けて努めてまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		相談や申し入れ、苦情があった場合については迅速かつ適切に対応することができるよう苦情窓口の設定や体制を整えております。契約時やモニタリング毎に、体制について再度丁寧な説明に努めております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		公式Webサイトのブログでは全事業所の活動状況をお伝えし、COMPASS便りや事業所便り等にて、活動概要や行事予定をお伝えしております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		児童に、特性に合わせて視覚支援を取り入れ、分かりやすい言葉や言葉掛けを心がけております。また、保護者様には専門用語を使用せず、分かりやすい言葉でお伝えするようにしております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		現時点では地域住民を招待する行事の実施はできておりません。	今後は地域住民を招待する行事を企画し、地域に開かれた事業運営となるよう努めてまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各種マニュアルはいつでもご覧いただけるよう玄関に提示しております。また、モニタリング時にマニュアルの説明をおこなっており、職員間でも定期的マニュアルの読み合わせをおこなっております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		業務継続計画を策定し、年間計画をもとに定期的な避難訓練の実施をおこなっております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		利用前日のアセスメントでの情報共有に努め、職員間で周知徹底しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		アセスメントでアレルギーの有無を確認し、職員間で把握に努め、周知しお弁当やおやつ等に配慮しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を作成し、年間計画をもとに定期的な避難訓練の実施をおこなっております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		年間計画をもとに定期的に避難訓練の実施をおこなっております。避難経路や避難場所、連絡方法等については、モニタリング時の説明や書面にてお知らせをしております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	7		危険な行為があった場合には報告書を作成し、職員間で共有しなから再発防止に努めるよう周知徹底しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		事業所内で研修をおこない、虐待防止マニュアルに沿って対応しております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束は原則としておこないません。生命または身体の保護のためにやむを得ず必要な場合には、事前に十分な説明をおこない、保護者の承諾を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載し、組織的に対応してまいります。	